

第三十二特別根據地隊機密第十五號

軍極秘

自昭和十八年八月一日  
至昭和十八年八月三十一日

第三十二特別根據地隊戰時日誌

第三十二特別根據地隊司令部

( 同 警 備 隊 )



1575

目次

- 一 経過
- 二 人員ノ現状
- 三 令達報告等
- 四 参考
- 五 作戦経過概要

自昭和十六年八月三十一日 第三十二特別根據地隊戰時日誌

一、  
經

(一) 敵

過

情

(1) 陸

上方面

(1) ビルマ 獨立宣言竝ニ參戰聲明ニ依リ比島官界及  
上層知識階級ハ「ビルマ」ノ獨立ニ依リ比島獨立  
實現ヲ確信シ我ニ信賴協力ハ意ヲ強メタルが如  
キモ一般民ハ關心極メテ薄ク獨立實現ニ依ル生活  
苦ノ打開希望及參戰嫌忌ノ言動ヲ洩ス者サハ  
アリ

(2)

敗殘米比軍ハ概ネ交通不便ノ山中ニ逃避蟠踞シ  
無線電信機ヲ有シ遠ク濠洲及布哇方面竝ニ群  
島内相互ニ自由ニ通信シ警備ノ手薄ナル處ニ隨時

隨所ニ出沒シ治安ノ攪亂「デマ」宣傳及糧食衣服等ノ獲得ニ努メツツアリ 其ノ總數「ミンダナオ」島ノミニテモ約五千ナリ（陸軍情報ヲ總合計算セルモノナリ）

1578

(3) 「ミンダナオ」島南部ハ此等敗殘匪兵ノ蠢動一般ニ低調ナルモ北部ハ稍活潑ナリ 背後ニアル米人首魁ハ巧ニ踪跡ヲ眩マシ敵潜水艦トモ交通シ居ル疑極メテ濃厚ナリ（確實ナル實證ナキモ敵信傍受等ニ依リソレラシキモノヲ探知スルコトアリ）

(4) 「サンボアング」及「バシラン」島方面ハ主トシテ海軍派遣隊ノ活動ニ依リ近時治安極度ニ恢復シ住民ハ生業ニイソシミツツアリ

(5) 「スルー」諸島方面其ノ住民ガ奇怪ナル「スルー」モロ

族ニシテ容易ニ我眞意ヲ了解セサルト「スワレス」  
少佐一味ノ敗殘兵ノ蠢動近時活潑化シ不逞「モロ」  
族之ニ加ハリ其ノ本據ハ「タウイタウイ」島及「シア  
セ」島ニ在リ近時一部「ホロ」島ニ侵入シ潜行的ニ同  
島方面ノ内部攪乱ニ努メツツアリ從ツテ「ホロ」島  
「ホロ」市ノ治安著シク不良トナレリ

(四) 海上方面

七月ニ於ケル比島方面敵潛ノ活動ハ極メテ低調トナリシ  
モ八月ニ入リテ次第ニ活潑トナリ「マニラ」湾口及「ベ  
ルデ」水道方面ニ三回「スルト」海及其ノ西方地域ニ  
三回「セレベス」海ニ五回「ミンダナオ」東海方面ニ三回  
出現セリ(無線諜報「モノヲ含ム」)  
第十三京丸ハ陸軍「ツマラキラス」湾方面掃蕩作戰  
協力ノ際約四十噸ノ木造交通船「チンカン」號ヲ捕

獲「ダバオ」ニ回航セリ（機關ノ重要部分及船体一部破  
壞シテ修理ニ相當ノ日時ヲ要スルモ修理後使用可能ノ見込アリ）

1580

(ハ)

「サンボアング」バシラン島方面  
派遣隊ハ全カヲ擧ゲテ治安ノ確保及増産ノ支援ニ  
努メツツアリ 治安概ネ平靜ナリ  
二十八日「サンボアング」附近匪首「ハルトン」少佐ノ部  
下「バニモロ」中尉 我派遣隊ニ投降シ來リ 目下本  
人ヲ利用シ「ハルトン」少佐ノ投降工作實施中ナリ

(ニ) 我軍ノ情況

(イ) 「ダバオ」周邊

北部及西北部郊外附近治安良好ナラザルモ海軍根  
據地隊附近ノ治安極メテ良好ナリ

南西方面ノ戦況ニ鑑ミ極力對空防禦作業施設及  
訓練ニ重點ヲ置キ萬一ノ場合不覺ヲ採ラザル様努メ  
ツツアリ

(ロ)五日ヨリ十五日迄約十日間陸軍部隊(第十獨立守備隊  
ノ一部)ノ「ツマキラス」灣(「モロ」海灣)方面敗殘兵  
及潜水艦基地覆滅掃蕩作戰ニ協力ノ爲第十京丸  
ヲ派遣シ概ネ成功裡ニ作戰ヲ終了セリ  
本作戦ニ依リ陸軍ニテハ「マランガス」方面ノ石炭資  
源及「ナガナガ」ノ製材材所施設ヲ獲得セリ

(ハ)「スルー」諸島方面

二十日夜邦人小山某「ホロ」市内ニ於テ拳銃ヲ何  
者カニ狙撃セラレ後死セリ  
之が原因ハ今尚不明ナルモ敗殘兵ノ「ホロ」市攪乱工作

ノ前兆トモ見ルベキモノニシテ「ホロ」市ノ治安ヲ確保セシ  
ニ同市周邊數料ノ地點迄治安ヲ確保スルヲ要スルモノニ  
シテ同地派遣隊ハ「グバオ」ヨリ派遣セル艦攻一機ト協力  
シ二十三日より此等敗殘兵ノ本據タル「ローク」地方  
（「ホロ」島東方地區）一帯ヲ探索攻撃シ彼等ハ相  
當ノ損害ヲ受ケケ山中及附近島嶼ニ四散逃避シツ  
アリ（本討伐ハ九月三日頃迄實施ノ豫定）

(三) 作戦指導

(イ) 重要船舶ニ對シテハ必ず直接護衛ヲ附シ其ノ他ニ對シテ  
ハ搭載物件及行動地域ヲ考慮シ航空機及艦艇ヲ以  
テ極力護衛ヲ實施シ海上交通ノ安全ヲ期ス

(ロ) 九五四空「グバオ」派遣隊飛行機及附属艦艇水警隊



ヲ以テ「ダバオ」海灣及泊地附近ノ日施哨戒ヲ實施シ  
敵潜ヲシテ「ダバオ」灣内潜水ノ餘地ナカラシムルト共ニ之ガ  
發見攻撃ニ努メツツアリ

(イ) 九五四空「ダバオ」派遣隊飛行機一機乃至二機ハ隨時  
「ザンボアンガ」又ハ「ホロ」ニ派遣シ附近對潜警戒探索  
攻撃ニ任ゼシメツツアリ

(ニ) 資源ノ開發物資ノ増産及戦力ノ増強ハ目下ノ急  
務ニシテ特ニ後方基地トシテノ「ミンダナオ」島ノ重要  
性ニ鑑ミ極力陸軍軍政ノ支援ニ努メツツアリ 特ニ「バシ  
ラン」島ハ海軍ノ獨力ニ依リ着々開發セラレツツアリ

(ホ) 「スルー」諸島方面敵潜基地覆滅ヲ目的トシ、二日ヨリ  
約一週間第一號東光丸ヲ派遣セシモ其ノ成果不充分

ニシテ、好機ヲ得テ更ニ後日實施ノ豫定ナリ

(ハ)「ミシダナオ」島海軍新航空基地（「デゴス」、「サノシ」ガニ、「サンボアンガ」）ノ建設作業ハ着々進捗シツツアリ

(ト)軍隊區分並ニ主要任務

警備隊	警備隊	警備隊	區分
サンボアンガ	ホ口	32aBj	指揮官
警備隊	警備隊	司令部	兵力
派遣隊長	武昌丸	警備隊	主要任務
派遣隊長	武昌丸	担任區域内ニ於ケル	
武昌丸砲艦長	派遣隊長	一 敵艦艇航空機捕 捉攻撃等	
海上部隊	武昌丸	二 警備	
派遣隊長	派遣隊長	三 主要港湾ノ防備	
		四 海上交通保護	
		五 敵蒙艦利用基地ノ 搜索覆滅	
		六 飛行場ノ確保	
		七 本島附近治安確保	
		八 附近海上警戒	

記 一、船團(輸送船)ノ護衛ニ關シテハ其ノ都度特令ス 二、バシラン島、イサラ、マルソー、サンタクララ及ラミタンニハ「ザンボアンガ」 敬言備隊ヲ適宜警備兵力ヲ派遣駐屯セシムルモノトス	航空部隊	哨戒部隊	
	954 仔 派遣隊長 (艦攻三)	第十 三 京丸 第一 號 東 光 丸 第二 號 驅 逐 艦 特 務 艇 第三 號 驅 逐 艦 特 務 艇	一、ダバオ湾内對空對潜哨戒 二、海上交通保護
	954 仔 派遣隊長 (艦攻三)	一、對空對潜哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一、對空對潜哨戒 二、海上交通保護

一	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
						航 六 海 五 中 一 七 三 三			航 七 海 六 中 一 七 五 六		武昌丸
						航 七 海 中 一 七 三 三			航 五 海 一 五 〇 〇		第號東光丸
						航 七 海 中 一 七 三 三			航 三 海 一 三 三 〇		第十二京丸
						航 七 海 中 一 七 三 三			航 三 海 一 三 三 〇		第十三京丸
						航 七 海 中 一 七 三 三			航 三 海 一 三 三 〇		第十一號 驅潜特務艇
						航 七 海 中 一 七 三 三			航 三 海 一 三 三 〇		第十五號 驅潜特務艇

(四) 麾下艦船部隊ノ行動

二 四	二 三	二 二	二 一	二 〇	一 九	一 八	一 七	一 六	一 五	一 四	一 三	一 二		
ホ 。七 。八 口	航 海 。二 。四 。六 口	ホ 。九 。六 口	航 海 。一 。五 。七 口	ホ 。一 。七 。六 口	航 海 。二 。六 。六 口	航 海 。三 。五 。五 口	航 海 。四 。三 。三 口	航 海 。五 。二 。二 口	航 海 。六 。一 。一 口	航 海 。七 。〇 。〇 口	航 海 。八 。〇 。〇 口	航 海 。九 。〇 。〇 口		
ダ 。八 。三 。〇 口	航 海 。一 。六 。〇 口	航 海 。二 。六 。〇 口	航 海 。三 。六 。〇 口	航 海 。四 。六 。〇 口	航 海 。五 。六 。〇 口	航 海 。六 。六 。〇 口	航 海 。七 。六 。〇 口	航 海 。八 。六 。〇 口	航 海 。九 。六 。〇 口	航 海 。一 〇 。六 。〇 口	航 海 。一 一 。六 。〇 口	航 海 。一 二 。六 。〇 口		
ザ 航 海 。五 。中 口	セ 航 海 。八 。中 口	航 海 。九 。四 。五 口	航 海 。一 〇 。四 。五 口	航 海 。一 一 。四 。五 口	航 海 。一 二 。四 。五 口	航 海 。一 三 。四 。五 口	航 海 。一 四 。四 。五 口	航 海 。一 五 。四 。五 口	航 海 。一 六 。四 。五 口	航 海 。一 七 。四 。五 口	航 海 。一 八 。四 。五 口	航 海 。一 九 。四 。五 口		
オ						ダ 。一 。七 。二 。〇 口			航 海 。二 。四 。五 口			航 海 。三 。四 。五 口		
オ						ダ 。一 。七 。二 。〇 口			航 海 。二 。四 。五 口			航 海 。三 。四 。五 口		
ガ ン ア ホ ン			航 海 。九 。中 口			セ 航 海 。四 。中 口			航 海 。五 。中 口			航 海 。六 。中 口		

三 一	三 〇	二 九	二 八	二 七	二 六	二 五
						ホ
ロ						
メ ナ ド	一 三 一 〇	航 海 中		〇 〇 〇 〇	バ オ	
ガ ン ア ホ ン						
						ダ
オ						バ
						ダ
オ						バ
ガ ン ア ホ ン ザ					航 海 中	

1588

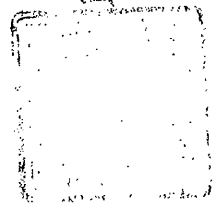
功績(功) 功績(功) 功績(功)

第三十二特別根據地隊機密第十七號

十月六日提出

軍極秘

自昭和十八年九月一日  
至昭和十八年九月三十日



18.11.15  
接受  
1989

第三十二特別根據地隊戰時日誌

第三十二特別根據地隊司令部

(同 敬言 備 隊)

目次

- 一、經過
- 二、人員ノ現狀
- 三、令達報告等
- 四、參考
- 五、作戰經過概要

(目次終)

1590



自昭和十八年九月一日  
至昭和十八年九月三十日  
第三十二特別根據地隊戰時日誌

一、經 過

(一) 敵 情

(イ) 海上方面

九月中ニ於ケル敵潜水艦ノ比島近海ニ於ケル跳梁極メテ  
低調ニシテ敵ハ何事カラ畫策シ居ルニアラスヤトノ疑  
念ヲ抱カシム

(ロ) 陸上方面

(1) コミンダナオ島北部ノ敗殘兵ハ今尚執拗ニ蠢動ヲ  
續ケ居リ警備ノ陸軍モ手ヲ燒キ居ル現狀ナリ  
之ガ情報モ區々ニシテ容易ニ其ノ真相ヲ捕捉シ  
得ズ

(2) 敗殘米比軍ノ無線通信ハ益活潑ニシテ近時「ミンダ  
ナオ」島東北部ニ濠洲「バース」ト通信シ居ルモノ  
ルガ如シ

(3) 「ミンダナオ」島南部特ニ「ダバオ」附近ハ近時治安比較  
的良好ニシテ人心一般ニ平穩ナリ

(4) 九月十四日久シク「ダバオ」州北部ノ本據蟠踞シ蠢動  
シ居タル匪首「ロドリゲス」比島警察隊ニ捕獲セラレ此  
ノ地方ノ治安急速ニ恢復セリ

(5) 「サンボアング」ニ於テハ九月七日及八日新飛行場附近ニ  
於テ我派遣隊ノ威力偵察ノ「トラック」ヲ狙撃シ  
下士官三名負傷（内二名重傷）セリ  
九月十四日「レコード」（「サンボアング」西岸十五行）方面ニ

飛行場人夫輸送ノ「ト」トラックヲ襲撃シ工員一名重傷  
一名輕傷此人人夫一名重傷セル事件アリ  
此等ハ附近「カビサン」ニ蟠踞スル敗殘兵ノ所爲ニシテ匪  
首ハ「リンコーベル」トテ元米人航空下士官ト稱セラレ我  
海軍航空基地作業ヲ妨害セントスルモノナルコト明ナリ  
九月二十六日ヨリ三日間艦攻三機及特設砲艦武昌丸及  
山砲二門ヲ以テ敗殘兵ノ本據「カビサン」ヲ砲爆撃セリ  
相當ノ効果アリシモノト認ム

(6) 「バシラン」島内ハ派遣隊隨時威力偵察及討伐ヲ實  
施シ着々治安恢復シ一般住民ハ海軍派遣隊ノ敗殘  
匪兵討伐ヲ徳トシ之ニ協力ヲ惜マザル狀況ナリ  
九月中ニ於ケル敗殘兵ノ投降者九一名遺棄死体  
一六 戰果彈藥自動小銃等等若干ヲ鹵獲ス  
我方損害ナシ

(7) 「ホロ」島「ローク」方面ノ派遣隊獨力ヲ以テスル八月下旬開始ノ討伐作戰ハ九月四日ヲ以テ終了シ其ノ後「アセ」島方面ニ敗殘兵集結シ居ルトノ情報アリシモ目下「ホロ」島ノ治安良好ナリ

(二) 我軍ノ情況

(1) 「ダバオ」周邊  
防空對勢ノ校正備ニ全カヲ傾注シ併セテ訓練ニ重點ヲ置ク

(2) 「バシラン」及「スルー」諸島方面ノ派遣隊ハ夫々日夜附近ノ治安維持飛行場ノ確保及海上交通ノ保護竝ニ軍政ノ支援ニ任ジ概ネ所期ノ目的ヲ達シ居レリ

(3) 「ホロ」島ニ軍政機關殆ンド見ルベキモノナク海軍派

遣隊ハ種々困難ナル情況ニ於テ奇怪ナル「モロ」族ヲ  
宣撫懷柔或ハ討伐シ軍政ニ寄與スル處甚大ナルヲ  
アリト認ム

(三) 作戰 指導

(イ) 重要船舶ニ對シテハ必ず直接護衛ヲ附シ其、他ニ對  
シテハ搭載物件及行動地域ヲ考慮シ航空機及  
艦艇ヲ以テ極力護衛ヲ實施シ海上交通ノ安全ヲ期ス

(ロ) 九五四空南部派遣隊飛行機(主トシテ水偵)及附屬艦  
艇水警隊ヲ以テ「ダバオ」海湾及泊地附近ノ日施哨  
戒ヲ實施シ敵潜ヲシテ「ダバオ」湾内潜入ノ餘地ナ  
ラシムルト共ニ之ガ發見攻撃ニ努メツツアリ

(ハ) 九五四空南部派遣隊飛行機艦攻一機乃至二機ヲ出來

得ル限リ常時「ザンボアンガ」又ハ「ホロ」ニ派遣シ附  
近對潜敬言戒探索攻撃ニ任ゼシメツツアリ

(ニ) 資源ノ開發物資ノ増産及戦力ノ増強ハ目下ノ急務  
ニシテ 特ニ後方基地トシテノ「ミンダナオ」島ノ重要  
性ニ鑑ミ 極力陸軍軍政ノ支援ニ努カメツツアリ  
特ニ「バシラン」島ハ海軍ノ獨力ニ依リ着々開發セラ  
レツツアリ

(ホ) 九月十四日及十六日 敗殘兵「スワレス」少佐一味「シア  
セ」島ニ集結シアリトノ情報ニ依リ 兩日ニ亘リ同島  
附近敵ノ本據ト思ボシキ處ヲ爆撃ス

(ハ) 軍隊區分並ニ主要任務

記 事	航空部隊	哨戒部隊	備 部 隊		警 備	區 分
			ホ口警備隊	ザンボアンガ警備隊	バオ警備隊	
一、船團(輸送船)ノ護衛ニ關シテハ其ノ都度特令ス 二、バシラン島、イサベラ、ラミタン、マルソト、及「サンタクララ」ニハ「ザンボアンガ」 三、艦攻一機又ハ二機ヲ出來得ル限リ常時「ザンボアンガ」ニ派遣スルモノトス	93449 南部派遣隊長	第三京丸艇長	派遣隊長 (海上部隊) 武昌丸砲艦長	派遣隊長	32abg	指揮官
	95419 南部派遣隊長 (艦攻三機 水偵三機)	第一十二京丸 第一十三京丸 第一號東光丸 第二號驅潛特務艇 第三號驅潛特務艇	派遣隊	武昌丸	司令部 警備隊	兵力
	一、對空對潛哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一、バオ灣内對空對潛哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一、飛行場ノ確保 二、杏市附近治安確保 三、附近海上哨戒 四、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一、ザンボアンガ(含バシラン)島方面海軍施設(資源)確保 二、附近海上哨戒 三、主要港灣ノ防備 四、海上交通保護 五、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一、敵艦艇飛機捕撿攻撃 二、警備	担任區域内ニ於ケル

四

1597

二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
才			ダ			航。七。海。一。中			ホ			武昌丸
航			リハツク			一三五〇			航			第號東光丸
ア			ボ			ン			ザ			第十二京丸
航。海。中		。九。〇。〇。		ザボアンガ		一四三〇		航。海。中		。八。〇。〇。		第十三京丸
バ			ダ			航。海。中			一八三〇			第十一號
タ			一四〇〇			航。海。中			。五。三。〇。			驅潜特務艇
タ			一四〇〇			航。海。中			。五。三。〇。			第十五號

四、麾下艦船部隊ノ行動

1598



二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	
ザ ン	一 〇 七 〇 八 四	ホ					一 八 〇 二	航 海 中	一 五 五 六				
ダ	一 九 〇 〇	航 海 中	一 八 〇 〇	ナ ド	一 七 二 五	海 中							
バ	一 七 二 五	航 海 中	〇 八 〇 〇	ガ									
ガ	一 七 三 〇	航 海 中	一 八 三 〇	タ ラ カ ン									
ブ ラ ウ	一 七 三 〇	タ ラ カ ン	一 七 三 〇	航 海 中	一 七 三 〇	ガ ン ア ホ ン	一 七 三 〇	航 海 中	一 八 〇 〇	オ			
セ	一 七 三 〇	航 海 中	一 七 三 〇	ガ ン ア ホ ン	一 七 三 〇	航 海 中	一 八 〇 〇	バ					

二人員ノ現狀  
 (一)司令部位ニ警備隊  
 (イ)主要職員官氏名

三〇	二九	二八	二七	二六	二五
が ン ア ボ					
才 ハ					
才					
ガ ン ボ ア ン カ	一 二 三 五	航 海 中	〇 三 〇 〇	ホ 八 五 〇	一 〇 〇 〇
カ ン	ラ タ	航 海 中	一 三 〇	一 七 三 〇	
ガ ン ア ホ ン ガ		航 海 中	〇 九 三 〇	〇 八 〇 〇	ブ

1600

事記	航空部隊	哨戒部隊	警備部隊		指揮官	兵力	主要任務
			ザボアノガ 警備隊	ホロ警備隊			
一船團(輸送船)ノ護衛ニ關シテハ其ノ都度特令ス ニ「バシラン」島「イサベラ」ラミタン「マルソ」及「サンタクララ」ニハ「ザボアノガ」 警備隊ヨリ適宜警備兵力ヲ派遣駐屯セムルモノトス 三艦攻二機又一機ヲ出來得ル限リ常時「ザボアノガ」ニ派遣スルモノトス	954f 南部派遣隊長 (艦攻四機 水復三機)	第十二京丸 艇長	派遣隊長 海上部隊 木曾丸艦長	派遣隊長 木曾丸	一「ザボアノガ」(含「バシラン」島)方面海軍施設(資源)確保 二警言 三主要港湾ノ防備 四海上交通保護 五敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一「ババオ」湾内對空對潜哨戒 二海上交通保護	担任區域内ニ於テ 一敵艦艇航空機ノ捕 捉攻撃ヲ 備
	954f 第十二京丸 第一號東光丸 第五號驅潜特務艇	派遣隊	一飛行場ノ確保 二「ホロ」市附近ノ治安ノ確保 三附近海上ノ警戒 四海上交通保護 五敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一「ババオ」湾内對空對潜哨戒 二海上交通保護	担任區域内ニ於テ 一敵艦艇航空機ノ捕 捉攻撃ヲ 備		

四

(四) 麾下艦船部隊ノ行動

九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
バ									第 一 號 東 光 丸
ダ									第 十 二 京 丸
ダ	一 三 四 五	航 海 中	航	一 八 〇 〇	オ	バ	ダ	ガ	第 十 三 京 丸
一 〇 〇 〇 ブ	一 七 六 三 三 ブ	航 海 中	航	ガ ン ア ボ ン	ガ	航 海 中	一 三 〇 〇	一 六 〇 〇	第 十 一 號 驅 潜 特 務 艦
二 〇 五 〇	ガ ン ア ボ ン ザ			航 海 中	一 三 〇 〇	一 六 〇 〇	タ ラ カ ン	第 十 一 號 驅 潜 特 務 艦	
一 六 〇 〇	ガ ン ア ボ ン ザ	航 海 中	一 七 五 〇 ブ	航 海 中	一 九 四 五	ガ ン ア ボ ン ザ	一 六 〇 〇	第 十 五 號 驅 潜 特 務 艦	

二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

航  
九海  
中

才

バ

ダ

〇  
九  
四  
五

航  
海  
中

〇  
八  
〇  
〇  
才

バ

航

一  
八  
〇  
〇  
才

タ  
ウ  
ニ  
中

航  
六  
〇  
〇  
中

一  
六  
〇  
〇  
ン

タ  
ラ  
カ

二  
六  
四  
五  
中

航  
海  
中

タ  
ニ  
ワ  
才

二  
二  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

海

航

一  
八  
〇  
〇  
中

航  
海  
中

ン

ア

ボ

ン

ザ

一  
一  
四  
五  
中

航  
海  
中

一  
七  
〇  
〇  
〇

航  
海

タ  
ラ  
カ  
ン

一  
四  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

海

航

一  
四  
〇  
〇  
中

五

ホ

一  
九  
〇  
〇  
中

航  
海  
中

二  
〇  
〇  
〇  
〇

才

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

〇  
〇  
〇  
〇  
中

1603

三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一
ホ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
口	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
カ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
ウ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
湾	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
オ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
ガ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
ホ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
口	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中

11月

性ニ鑑ミ極力比島民力ノ逐養支援ニ努メツツアリ  
特ニ「バシラン」島ハ海軍ノ獨力ニ依リ着々開發  
セラレツツアリ

(五) 水警隊附属第四號砲艇（指揮官高木少尉以下十六名）  
ヲ以テ十一月十四日ヨリ約一ヶ月ノ豫定ニヨリ第一次「ミ  
ンダナオ」島南岸敵潜水艦基地搜索覆滅並ニ次頁  
源調査ヲ實施中

(六) 「タウイ」島掃蕩作戰後「シアセ」島及「タウイ」  
「タウイ」灣「ボンガオ」島ニ各警備兵力約五十名「ボ  
ンガオ」分遣隊六「バシラン」丸（約四十噸）ヲ附スヲ常駐  
セシメ之ヲ「ホロ」派遣隊長ノ指揮下ニ置キ同地附近  
竝ニ泊地及「シブツ」海峡ノ警備ニ任ゼシム

經過 四

1805

							(七) 軍隊區分並ニ主要任務
航空部隊	哨戒部隊	警備隊	警備隊	警備隊	區分		
		木口	バシホアノカ	ダバオ	指揮官		
954fg 南部派遣隊長	第十京丸艇長	派遣隊長	海上部隊 木曾丸砲艦長	派遣隊長	32aBg		
954fg 南部派遣隊長 (艦攻四機) 水偵三機	第十一京丸 第十二京丸 第十三京丸 第十四京丸 第十五京丸 第十六京丸 第十七京丸 第十八京丸 第十九京丸 第二十京丸 第二十一京丸 第二十二京丸 第二十三京丸 第二十四京丸 第二十五京丸 第二十六京丸 第二十七京丸 第二十八京丸 第二十九京丸 第三十京丸	派遣隊	木曾丸	司令部 警備隊	兵力		
一、對空對潛哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地、搜索覆滅	一、バオ、湾内對空對潛哨戒 二、海上交通保護	一、飛行場ノ確保 二、ホノ市附近、治安確保 三、附近海上ノ警戒	一、バオ、湾内對空對潛哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地、搜索覆滅	一、バオ、湾内對空對潛哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地、搜索覆滅	一、バオ、湾内對空對潛哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地、搜索覆滅	一、バオ、湾内對空對潛哨戒 二、海上交通保護 三、敵潜水艦利用基地、搜索覆滅	担任區域内ニ於ケル 一、敵艦艇航空機、 捕捉攻撃 二、警備 三、主要港灣ノ防備 四、海上交通保護



(二) 麾下艦船部隊ノ行動

日	一	二	三	四
第一號東光丸 航海中 一七。五	第十二京丸 カウ湾 一。一。	第十三京丸 航中 一。五。	第一號驅潜特務艦 ザンボアング 一六。〇。	第十五號驅潜特務艦 航中 一三。三。
ザンボアング 一八。〇。	航海中 〇七。五。	航海中 一五。〇。	航海中 一五。〇。	航海中 一五。〇。
航海中 〇九。三。	航海中 〇七。五。	航海中 一五。〇。	航海中 一五。〇。	航海中 一五。〇。

經過五

事記

一、船團(輸送船)ノ護衛ニ關シテハ其ノ都度特令ス  
 ニ「バシラン」島「イザベラ」「ラミタン」「マルソー」及「サンタクララ」ニハ  
 「ザンボアング」警備隊ヨリ適宜警備兵力ヲ派遣駐屯セシムルモノトス  
 三、艦攻二機又ハ一機ヲ出來得ル限リ常時「ザンボアング」ニ派遣スルモノトス

一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五
ボ 航 一 五 海 五 。中 口。	ボ ン ガ オ	二 航 五 海 三 。中	ボ ン ガ オ	航 九 海 。中	一 ボ 九 。口	一 航 九 海 。中	航 八 海 。中	一 航 八 海 。中	一 航 八 海 。中
。ニ 三 七	航 海 中	航 海 中	ザ ン ボ ア ン ガ	航 海 中	。六 三 八	。六 三 八	。六 三 八	。六 三 八	。六 三 八
航 。六 。中	。六 。中	。六 。中	。六 。中	。六 。中	。六 。中	。六 。中	。六 。中	。六 。中	。六 。中
二 三 四 五 中	航 海 中	一 七 。中	ガ ン ボ ア ン ガ	航 海 中	一 航 九 海 。中	一 航 九 海 。中	一 航 九 海 。中	一 航 九 海 。中	一 航 九 海 。中
中	航 海 中	。八 。中	ガ ン ボ ア ン ガ	一 航 三 一 五 中	一 航 三 一 五 中	一 航 三 一 五 中	一 航 三 一 五 中	一 航 三 一 五 中	一 航 三 一 五 中

三四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

中	海	航	航	航	航	航	航	航	航
			ガ ン ホ ア ン ガ	ホ と 一 三 ロ	ホ と 一 三 ロ	ホ と 一 三 ロ	ホ と 一 三 ロ	ガ ン ホ ア ン ガ	ガ ン ホ ア ン ガ

カ ウ 湾	航	海	中	オ	バ	ダ
-------------	---	---	---	---	---	---

バ	海	中
---	---	---

中	海	航	ガ ン ホ ア ン ガ
---	---	---	----------------------------

バ	ダ	〇 ニ 三 〇
---	---	------------------

編過六

1609

三〇	三九	三八	二七	二六	二五
航 海 中	一。 。 。 ガ	ザ ン ホ ア ン ガ	一。 三。 中。	ル タ ザ ン バ ン ダ ン 湾	一。 二。 三。 五。
オ	バ	ダ 三。 。 。	航 海 中	一。 六。 。 。	
		オ			
中	航 海	一。 三。 。 。	ザ ン ホ ア ン ガ	一。 六。 。 。	
		オ			

1610

海軍功績調査部長殿

第三十二特別根據地隊機密第二四號

軍極秘

自昭和十八年十二月一日  
至昭和十八年十二月三十一日

第三十二特別根據地隊戰時日誌

第三十二特別根據地隊司令部

(同 警備隊)

一月五日提出

19.2.5  
接受

1611

目次

- 一 經過
- 二 人員、現狀
- 三 令達報告等
- 四 參考
- 五 作戰經過概要
- 六 醫務衛生
- 七 會計經理

(目次終)

1612

自昭和十八年十二月三十一日第三十二特別根據地隊戰時日誌

一 經

(1) 敵情

(一) 海上方面  
敵ハ我が南西方面兵力増強ヲ窺知シタルモノノ如ク比島中部南部方面於テ敵潜水艦ノ活動頗ル活潑ニシテ晝間及暗夜ニ於ケル我が輸送船團ノ攻撃或ハ護衛艦ニ對スル雷撃等其ノ行動極メテ巧妙大膽トナリ又其ノ被害甚大ナリ

(二) 陸上方面

(1) 敗殘匪ノ行動ハ一般ニ潜行的ニシテ大ナル蠢動ハ認メザルモ依然其ノ糾合ニ狂奔シ以テ匪勢ノ擴大ト抗戰力培養ニ努メ聯合戰線ノ強化充實促進ニ腐心シツツアルモノノ如シ

(2) 米人指揮下ニ在ル匪團ハ南東方面ニ於ケル敵勢増強ニ相呼應シ其ノ謀報行爲ハ漸次組織化セラレツアリ又潜水艦ニ依ル武器資材ノ補給米人ノ潜入抗戰激勵ノ宣傳文及反抗指導要領ノ文書ノ搬入等逐次増加ノ傾向ニアリ

(3) 敵性無線局其ノ出現數増加ノ傾向ニアリ濠洲「パース」ト通信シ居レル「Z四K」ナル海軍式無線局ノ測定位置北緯七度三分五秒東經一二四度四〇分ナリ

(4) 米、マイス等ノ主食品ヲ始メトシ一般民衆ノ生活必需品ノ缺乏次第ニ深刻化シ爲之民心次第ニ惡化スルノ傾向ニアルハ注意ヲ要ス

(5) 「ミシダナオ」島ハ北部ノ兵匪稍蠢動セルモ南部ハ一



般ニ平靜ナリ

(6) 「ダバオ」市附近治安極メテ良好ナリ

(7) 「バシラン」島ハ現地派遣海軍部隊ノ活躍ニヨリ治安ハ急速度ニ良好トナリツツアリシモ最近陸軍部隊ノ「ミンダナオ」西北部地区討伐ノ結果敗匪ノ一部ハ「ザンボアンガ」「バシラン」方面ニ移動シツツアリ

(8) 「ザンボアンガ」市附近周邊ノ治安ハ良好ナルモ市外數料ヲ出レバ尚兵匪散在警戒ヲ要ス

(9) 「タウイタウイ」島方面當隊派遣兵力(五〇名)ヲ以テ「ホンガオ」ヲ中心トシ逐次海軍勢力カノ浸透工作漸ク緒ニ就キタル狀況ニシテ「タウイタウイ」泊地ノ活用ト

モ關聯シ今後更ニ積極的工作ヲ實施スルヲ要ス

(ロ) 我軍ノ情況

(一) 「ダバオ」市附近

防空對勢ノ整備強化ニ全カヲ傾注シ併セテ訓練ニ重點ヲ置ク

(二) 「サンボアング」島「バシラン」島「ホロ」島方面ノ派遣隊ハ夫

々日夜附近ノ治安維持飛行場ノ確保整備及海上交通ノ保全ヲ期シ概ネ其ノ目的ヲ達シ居レリ

(三) 「ボンガオ」分遣隊ハ「タウイタウイ」島「バツバツ」ニ本據

ヲ有スル「スワレス」一帯ニ對シ積極的掃蕩宣撫ヲ實施シ「ボンガオ」附近治安良好トナレルモ地形及住民ノ特異性ヨリ防諜ノ完全ヲ期スルハ現在ノ兵力ニハ困

難ナル状況ナリ

(ハ) 作戦指導

(一) 重要船舶ニ對シテハ必ず直接護衛ヲ附シ 其ノ他ニ對シテハ搭載物件及行動地域ヲ考慮シ 航空機及艦艇ヲ以テ極力護衛ヲ實施シ海上交通ノ安全ヲ期ス

(二) 九五四空南部派遣隊飛行機(主トシテ水偵)及附屬艦艇水警隊ヲ以テ「ダバオ」海灣及泊地附近ノ日施哨戒ヲ實施シ敵潜ヲシテ「ダバオ」灣内潜入ノ餘地ナカラシムルト共ニ之ガ發見攻撃ニ努メツツアリ

(三) 九五四空南部派遣隊飛行機艦攻一機乃至二機ヲ出來得ル限り常時「ザンボアンガ」又ハ「ホロ」ニ派遣シ附近對潜警戒探索攻撃ニ任ゼシメツツアリ

(四) 資源開發物資ノ増産及戦力ノ増強ハ目下ノ急務ニシテ特ニ後方基地トシテ「ミンダナオ」島ノ重要性ニ鑑ミ極力比島民力ノ涵養支援ニ努メツツアリ特ニ「バシラン」島ハ海軍ノ獨力ニ依リ着々開發セラレツツアリ

(五) 水警隊附属第四號砲艇(約四十五噸)ヲ以テ十一月十四日ヨリ十二月二十六日ニ亘リ第一次「ミンダナオ」島南岸敵潜水艦基地搜索覆滅竝ニ資源調査ヲ實施シ効果見ルベキモノアリタリ

(六) 第十二京丸水警隊附属第四號砲艇「サンボアング」派遣隊ノ一部及九五四空南部派遣隊艦攻一機ハ第一〇三海軍軍需部「ダバオ」支部「サンボアング」出張所ト協力シ十二月八日ヨリ十二日ニ至ル間「シブケイ」湾「ルマラオ」ニ於ケル敵産製材所ノ遊休資材獲得ヲ實施セリ

(七) 軍隊區分並ニ主要任務

記	航空部隊		哨戒部隊		警備部隊		區分	指揮官	兵力	主要任務
	艦攻三機又ハ一機ヲ	警備兵力ヲ派遣駐屯セシムルモノトス	第一號東京丸	第二號東京丸	第三號東京丸	第四號東京丸				
一、船團(輸送船)ノ護衛ニ關シテハ其ノ都度特令ス	954fg 南部派遣隊長	954fg 南部派遣隊長	第一號東京丸	第二號東京丸	第三號東京丸	第四號東京丸	32abg	司令官	警備部隊	担任區域内ニ於ケル一、敵艦艇航空機、捕拵攻撃
二、シラン島イサベララニシタニ「マルソー」及「サントクララ」ニハ「ザンボアンガ」警備隊ヨリ適宜			第一號東京丸	第二號東京丸	第三號東京丸	第四號東京丸				二、敬告
三、艦攻三機又ハ一機ヲ出來得ル限り常時「ザンボアンガ」ニ派遣スルモノトス			第一號東京丸	第二號東京丸	第三號東京丸	第四號東京丸				三、主要港灣ノ防備
			第一號東京丸	第二號東京丸	第三號東京丸	第四號東京丸				四、海上交通保護
			第一號東京丸	第二號東京丸	第三號東京丸	第四號東京丸				五、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅

四

1619

九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
航海中 〇七三〇	航海中 一九〇〇	ザンボアング 一八三〇	航海中 一八三〇	航海中 〇八〇〇	夕ラカン 〇八〇〇	夕ラカン 一四〇〇	航海中 一四〇〇	航海中 一四〇〇	第一號東光丸
ガ ン ア ホ ン		航海中 二〇〇〇	航海中 二〇〇〇	航海中 〇七五〇	オ	バ	ダ	航海中 一四五五	第十二京丸
航海中 一七〇〇		航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	第十三京丸
航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	第十四號 驅潜特務艇
航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	航海中 一七〇〇	第十五號 驅潜特務艇

(二) 麾下艦船部隊ノ行動

二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇
ボ ン ガ オ	航 海 中	ホ ロ	航 海 中	ガ ン ア ガ	ン ア ホ	ン ア ホ	ガ ン ア ホ	航 海 中	航 海 中	ダ バ ウ 湾 (ル マ ラ オ)
オ				ダ	航 海 中	航 海 中	航 海 中	航 海 中		
航 海	カ ウ 湾	航 海 中		オ		ダ		中		
	航		航 海 中	航 海 中		オ		ダ		
五	ザ	航 海 中	航 海 中	航 海 中	ラ ミ タ ン	航 海 中	航 海 中	航 海 中	航 海 中	ザ ン ボ ア ン ガ

三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一
ダ バ オ	一 五 四 五	航 海 中	ザ ン ボ ア ン ガ	〇 九 四 五	航 海 中	一 七 三 〇	タ ラ カ ン	一 五 〇 〇	航 海 中	〇 七 〇 〇
ダ バ オ	二 一 四 〇	航 海 中	一 二 四 〇	ダ バ オ	〇 九 二 五	航 海 中	カ ウ 湾	一 九 〇 五	〇 七 二 〇	航 海 中
二 四 三 〇 ダ バ オ	航 海 中	〇 六 三 〇	ザ ン ボ ア ン ガ	〇 九 〇 〇	航 海 中	一 七 〇 〇	ダ バ オ	二 一 四 五	中	二 一 四 五
	入 渠	一 七 〇 〇		マ ニ ラ	一 三 〇 〇		中		海	
航 海 中										ガ ン ア ボ ン



自昭和十九年一月一日第三十二特別根據地隊戰時日誌

一、經過

(1) 敵情

(一) 海上方面

敵潜水艦ノ近海ニ於ケル活動依然活潑ナルモアリ  
更ニ至嚴ナル警戒ヲ要ス

(二) 陸上方面

(1) 敗殘匪ハ一般ニ匪團再組織匪勢挽回ノ傾向ニアリテ潜水

ニ統合組織化親米思想ノ昂揚持續ヲ策シツツアルモ

ノ如ク敵無線ノ交信狀況敵潜水艦ノ出沒狀況等

ニ鑑ミ嚴ニ注意ヲ要ス

(2) 「ミンダナオ」島ニ於ケル敵無線ノ交信活潑ナリ

「ミンダナオ」北部所在敵電信所乙四V通信量最近

頓ニ増加シ大部分ハ作戰緊急信ニシテ非島方面

一月

- ニ於ケル情報ヲ逐一報告シアルモノト認メラル
- (3) 「ミンダナオ」島匪團ハ友軍陸軍討伐圏外ニ逃避シ匪勢ノ擴大ヲナシアルモノノ如ク匪首米人「マイルテイク」ハ「ブツアン」附近ニテ策動中ニシテ無線及米潜水艦ヲ利用シ「菲島殘匪」統一ヲ企圖シツツアリ
- (4) 「ミンダナオ」島南部ハ一般ニ平靜ナレドモ局部的ニハ殘存米人ノ潜行的煽動及巧妙ナル宣傳ニヨリ反日的策動ヲナシツツアリ 一方政治指導力ノ薄弱 生活ノ逼迫ハ益深刻化シツツアリ
- (5) 「ダバオ」市附近治安極メテ良好ナリ
- (6) 「ザンボアンガ」市附近ハ西岸三十軒附近迄治安極メテ良好ニシテ東岸ノ敗殘兵匪ノ行動消極的トナレルモ尚豫断ヲ許サズ
- (7) 「バシラン」島ハ小數土匪山中附近ノ部落ニ潜在シ住民ヲ強迫食糧ヲ獲得シツツアルモ 其ノ勢力カ微々タ

(四) 我軍ノ情況

(8)(9) ルモノニシテ一逐次島外ニ潰走或ハ自滅ノ傾向ニアリ  
 「ホロ」島 「シアセ」島ハ治安良好ナリ  
 「タウイタウイ」島 「バツバツ」ニ本據ヲ置ク「スワシ」  
 ス「一味約七百ト稱セララル 當方面ノ重要性ニ鑑ミ  
 之ガ切崩シニ積極的工作ヲ實施スルヲ要ス

(一) 一月二十四日一六一。船團哨戒中ノ九五四空南部派遣隊  
 零式觀測機一機ハ北緯八度四分東經一六度五分ニ敵浮  
 上潜水艦ヲ發見 潜没直後六〇旣爆彈ニ發命中 油  
 流出經三〇〇米ヲ認メタルモ 效果確認シ得ズ

(二) 一月二十八日〇二三。頃 特務艦塩屋及第四十五號驅潜  
 艇ハ北緯五度四六分 東經一三四度四五分ヲ 「ダバオ」ニ  
 向ケ沿岸東航中 反航ノ陸軍徴傭船共同丸(約千噸)

ヨリ敵潜ト誤認セラレ 突如砲撃ヲ受ケ 塩屋ニ死傷者  
數名ヲ出セリ  
夜間ニ於ケル味方識別信號ニ關シテハ 更ニ周到ナル用意  
及深甚ナル注意ヲ要ス

(三) 「ダバオ」市附近  
防空對勢ノ整備強化ニ全カヲ傾注シ 併セテ訓練ニ重點  
ヲ置ク

(四) 「ザンボアンガ」「バシラン」島「ホロ」島方面ノ派遣隊ハ  
夫々日夜附近ノ治安維持飛行場ノ確保整備及海上交通  
ノ保全ヲ期スルト共ニ積極的宣撫工作ヲ實施シ 概ネ其  
ノ目的ヲ達シ居レリ、

(五) 「ホロ」派遣隊長 佐々木少佐ハ陸戰隊一箇小隊(増援)

1626

シ率牛「ドウイシウイ」湾「ボンガオ」分遣隊ニ進出、凌  
風丸ノ泊地測量ト平行シ該地方ノ積極的治安工作ヲ  
開始、着々成果ヲ收メツツアリ

(一) 作戰指導

(一) 重要船舶ニ對シテハ、必ず直接護衛ヲ附シ、其ノ他ニ對シ  
テハ、搭載物件及行動地域ヲ考慮シ、航空機及艦艇ヲ以テ  
極力護衛ヲ實施シ、海上交通ノ安全ヲ期ス

(二) 九五四空南部派遣隊飛行機（主トシテ水偵）及附屬  
艦艇、水警隊ヲ以テ「ダバオ」海湾及泊地附近ノ日施  
哨戒ヲ實施シ、敵潜ヲシテ「ダバオ」湾内潜入ノ餘地  
ナカラシムルト共ニ、之ガ發見攻撃ヲニ努メツツアリ

(三) 九五四空南部派遣隊飛行機艦攻一機及至二機ヲ出

來得ル限り常時「ザンボアンガ」又ハ「ホロ」ニ 觀測機  
ニ機ヲ「レコード」ニ 觀測機一機ヲ「ホンガオ」ニ 派遣シ附  
近對潛警戒探索攻撃ヲ任セシメツツアリ

1628

(四) 資源開發物資ノ増産及戰力ノ增強ハ目下ノ急務  
ニシテ 特ニ後方基地トシテノ「ミンダオ」島ノ重要性ニ  
鑑ミ極力菲島民力ノ涵養支援ニ努メツツアリ  
特ニ「バシラン」島ハ海軍ノ獨力ニ依リ着々開發セラレ  
ツツアリ

(五) 軍隊區分竝ニ主要任務

記 事	航空部隊		哨戒部隊		隊		部		備		警		區 分	
	航空部隊		哨戒部隊		十二衛所隊		ホ口警備隊		ザボアガ警備隊		ダバ才警備隊			
<p>一、船團(輸送船)ノ護衛ニ關シテハ、其ノ都度特令ス</p> <p>二、バシラン島、イサベラ、マルソン、ラミタン、サンタクララ、ニハ、サンボアガニ派遣隊ヨリ、タウイタウイ島</p> <p>三、艦攻二機又ハ一機ヲ出來得ル限リ、常時「ザンボアガ」ニ派遣スルモノトス。状況ヨリ水偵ノ一部ヲ「レコ」ト泊地ニ派遣スルコトアル(シ)</p>	95458	南部派遣隊長	第九十二京丸艇長	衛所隊長	派遣隊長	派遣隊長	派遣隊長	派遣隊長	派遣隊長	派遣隊長	派遣隊長	32aBg	指揮官	
	95449	南部派遣隊	第十一號 東京丸	第十號 東京丸	第九號 東京丸	第八號 東京丸	第七號 東京丸	第六號 東京丸	第五號 東京丸	第四號 東京丸	第三號 東京丸	第二號 東京丸	第一號 東京丸	司令部
	三、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一、對空對潜哨戒	二、海上交通保護	一、担任海域對空對潜哨戒	二、海上交通保護	一、飛行場ノ確保	二、ホ口市附近ノ治安確保	三、附近海上ノ警戒	一、ザボアガ(含バシラン島)方面海軍施設(資源)ノ確保	二、附近海上ノ警戒	三、主要港灣ノ防備	四、海上交通保護	五、敵潜水艦利用基地ノ搜索覆滅	一、敵艦艇航空機ノ捕捉攻撃
				タウイタウイ島泊地防備									担任区域内ニ於ケル	

九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
バ									東第 光一 丸號
オ									第 十二 京丸
○ × ○ ○	タ ラ カ ン	航 海 中	ホ ロ	航 海 中	ザ ン ホ ア ン ガ	航 海 中	ニ ○ ○ ○ ○	ダ バ オ	第 十三 京丸
渠 (ラニマ)									驅 潜 特 務 艇
○ ○ ○ ○	ザ ン ホ ア ン ガ	航 海 中	○ ○ ○ ○	オ	バ	ダ	○ 六 ○ ○	航 海 中	驅 潜 特 務 艇
一 四 一 五	中	航 海	○ 六 五 三	カ ウ	二 八 ○ 七	中	航 海	艇	驅 潜 特 務 艇

(二) 麾下艦船部隊ノ行動

1630



29

二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

才

夕	一九三〇	航海中	〇八二五	ワシレ	航海中	一九三五	力	一二五五	航海中	〇〇三〇
---	------	-----	------	-----	-----	------	---	------	-----	------

ガ	ン	ア	ホ	ン	ザ	航海中	〇八五〇
---	---	---	---	---	---	-----	------

ラ	ニ	マ	航海中	一七三〇出渠
---	---	---	-----	--------

オ	バ	夕	航海中	二一〇〇
---	---	---	-----	------

ザ	〇八五五	航海中	一五五五	オ	夕	バ
---	------	-----	------	---	---	---

1631

三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一
ザン ボ ア ン ガ	航 海 中	ボ ン ガ オ	航 海 中	ホ ハ ロ	航 海 中	ザ ン ボ ア ン ガ	航 海 中	航 海 中	オ	ダ バ オ
オ		バ	ダ		航 海 中		オ		バ	
航 海 中	ワ シ レ		ウ		カ		航 海 中		航 海	
航 海 中	セ ニ ブ	八 四 五	航 海 中		航 海		ラ		マ	
航 海 中	航 海 中	オ	ラ	パ	航 海 中	航 海 中	航 海 中	オ	ダ バ オ	
オ	バ	ダ	航 海 中	航 海 中	ザ ン ボ ア ン ガ	航 海 中	航 海 中	オ	ア ン ガ	

1632